

公表

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名		サポートセンター アジト					公表日	R7 年 12 月 15 日
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			・定員人数に対しての部屋数等が多い		
	2	職員の配置数は適切であるか	9					
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	3	・建物の構造上全ては難しいが、利用前には現状を保護者や本人に確認してもらったうえで利用、とはなっているが出来る限りの改善は引き続き行っていく。		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	3		・職員間でのミーティングや管理職等における面接の場も設けていく。		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	2				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページなどで公開しているか	7	2		・ホームページの「公開情報」に掲載している。 ・都度公開した際には業務連絡として周知していく。		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	2		・第三者への協力まではいけていないので、今後助言をいただきながら良い方へ改善していきたい。		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			・今後も可能な限り研修参加を心がけていく。		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	3		・作成後の周知や内容説明の機会を設けていくよう、改善していく。		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2		・エイブル等を活用しているが、こちらもしっかりと周知していくよう心がける。		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	4		・同じ内容にならないように、日々話し合いや相談をしながら決定している。 ・長期休みの活動では事前に児童から「やりたいこと・今までの活動で楽しかったこと」などを聞き取り取り入れている。 ・偏りがないよう事前に職員ミーティングを設け全体で組み立てていくよう、時間の確保に努めていく。		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	3		・同じ内容にならないように、日々話し合いや相談をしながら決定している。 ・日々の児童との会話から、好きなことや興味のあることを引き出し、その活動（実験や博物館見学など）を取り入れるようにしている。 ・偏りがないよう事前に職員ミーティングを設け全体で組み立てていくよう、時間の確保に努めていく。		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	2		・偏りがないよう事前に職員ミーティングを設け全体で組み立てていくよう、時間の確保に努めていく。		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			・学校行事の前後は児童の情緒面に特に寄り添い、個別での活動を取り入れたりしている。 ・個別が必要な場合、児童に寄り添い、集団に入れるように職員を配置し、計画を立てている。		

関係機関や保護者との連携	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 前日のうちに職員配置や活動内容を仮で決定して、職員間で周知している。活動にあてはめるのではなく、児童の「今日これやりたい」という意見を大事にして、臨機応変に活動を組むこともある。当日の活動前には再度活動を検討して、役割分担や支援内容の確認を行っている。 職員の出勤時間が異なることもあるため、活動担当が職員に周知している。 もっと時間に余裕を持ち、職員間で話し合いや組み立てができるればベストだと思う。ベストに近づけるよう工夫していきます。日々改善！！！
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 児童の受け入れ地域範囲が広く、どうしても送迎時間に時間がかかってしまう。そのため振り返りは連絡（主にLineや電話）になつたり、翌日になつたりする。 支援終了後に確保は難しいが、共有できる方法は今後も皆さんの負担のないように声をしっかり拾い上げたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> 今後はさらに個別支援計画書に基づいた記録に努め、支援目標を常に意識しながら療育を行う、記録に残すよう取り組んでいく。 引き続き皆さんの声をしっかり拾い、日々改善し続けられるよう調子に乗らない！
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> モニタリングに参加し、その後は職員間で内容を共有している。 今後はできるかぎり現場スタッフも同席してもらい、何か支援のヒントになればとの思いでいる。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	4		<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインの周知を徹底していく。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9			<ul style="list-style-type: none"> 学校にお迎えに行った時に、密に情報共有を行うようしている（学校行事の練習で情緒面の変化や何か変化はないかなど）。また、直接学校に電話をして問い合わせたり、スクリレを活用したりして情報を得ている。 細かな調整を行ってくれている支援チームの皆さんにとっても感謝しています。ありがとうございます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4		<p>無回答1</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児なし。看護師配置なし。医療的ケアではなく、服薬などがある児童に関しては、相談員や保護者から情報を得たり、薬に関する書類のコピーをいただきいたりしている。 医療的ケア児の受け入れは現状難しいが、できるかぎりやれることは助言をいただきながら前向きではいたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	3		<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援からの移行に関してはスムーズに行えるよう、繋ぎは大事にしているがその後の繋がりに関しては何とも言えないのが現状である。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	3		<p>無回答1</p> <ul style="list-style-type: none"> 求められる際には会議参加も行っているが、スタッフへの周知を心がけていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4		<p>無回答1</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修案内に対し出来るだけ参加できるよう職員配置を工夫していく。

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	3		・地域財源は活用しているが交流できるようアプローチも心がけていく。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4	4	1	・現時点では参加できていない。R8年度は積極的に参加できるようにしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1		・送迎時に、保護者に本日の活動での様子や学校からの申し送りなどを伝えている。また家庭での様子を伺っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っているか	6	3		・ペアレンツトレーニングの導入まではできていない。相談等にはできるだけ寄り添っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1		無回答1 ・再度内容の周知を徹底していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		無回答1 ・保護者の悩みは電話やLINE、送迎時に直接承っている。保護者の悩みに耳を傾けながら支援を行っている。 ・今後も1つ1つ丁寧に寄り添う。また声にしっかり耳を傾けてまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	3	1	無回答1 ・今年（2025年）の8月30日（土）11:00～西原マリンパークで行った。7組のご家族さんの参加があった。 ・今後も毎年行う予定。 ・今後は年2回開催できるよう心がける。また、その際には出来る限り全員参加できるよう、日程調整もしっかり相談して決められるように心がける。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		・苦情があった場合は管理者に報告。事実確認も行いながら対応にあたり、改善に努めている。 ・対応後の報告含め、全て報告して改善に努めるよう周知していく。その流れを強化したい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3		・定期的に行い継続できるよう工夫していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	2		・今後も徹底していく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	6		・地域住民を招待することはないが、招待していただけることはある。今後は招待できるよう工夫していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	3		・周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	7	1	・現時点で定期的に行えていないのが現状である。年2回以上の実施を今後行う。 ・年間スケジュールに固定化して計画・実施・報告・振り返りまで行えるよう早急に取り組む。
非常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1		・「沖縄県障害者虐待防止・権利擁護研修」を毎年受講している。また職員間で、虐待に繋がらないよう、日々の会話を大切にし、1人で抱えない環境作りに取り組んでいる。 ・1人1人の特性や権利、全てを把握しその1つ1つに寄り添う事、大切さをもっと大切にしていき、1人で抱え込まない環境やチーム作りを第一に考えていく。

キ の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う かについて、組織的に決定し、子どもや保護 者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	3	・現時点で身体拘束を行うようなケースがなかったため、計画に盛り込むことはしていなかったが、助言をいただきながら早急に改善していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされているか	9		・アレルギー児童の食品等は一覧にして台所に掲示し、職員全員が把握できるようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有しているか	9		・ヒヤリハットや事故があった際には、対応した職員で報告書を作成し、「事故・ヒヤリハット報告書」のファイルに綴っている。また職員間でも共有を行っている。 ・引き続き報告、改善を徹底していく。

○この「放課後等デイサービス自己評価表」は事業所全体で行った自己評価です。